

平成 28 年度の道徳教育の成果及び課題

| | |
|----|--|
| 成果 | ①各教科・科目の年間指導計画の「指導上の留意点」に道徳教育目標に関連する事項を記載し、教科指導に道徳教育の観点を取り入れた。 ②学校行事において、道徳教育の観点からその目的を見直し、キーワードとして「氣高さ」を常に意識させた取組を年間を通して行った。 |
| 課題 | 各教科で行っている道徳教育に対する取組をさらに充実させるために、アクティブ・ラーニング等を取り入れ、主体的・対話的で深い学びができるように授業を改善していく必要がある。 |

| 月 | 学年 | 指導場面 | 学校の道徳教育重点目標との関連 |
|-----|-----|-----------------|---|
| 4月 | 1年 | 入学式 | 本校の校風に従い、歴史や伝統、文化を尊重する態度を育成する。 |
| | 1年 | 自立と協働を学ぶ体験活動 | 規律ある集団生活や体験活動をとおして、自律、社会連帯の精神、帰属意識の高揚など、道徳性の基礎を育成する契機とする。 |
| 5月 | 全学年 | 生徒総会 | 本校に対する所属感や連帯感および自治の精神を高め自主的な態度の育成を図る。 |
| | 全学年 | 野球定期戦 | 本校の歴史を重んじ伝統を賞ぶ精神の育成を図る。 |
| 6月 | 全学年 | 潤陵祭 | 家庭や地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進し、生徒の調和のとれた人間形成を図るとともに、人間としての在り方、生き方についての自覚を深めさせ、道徳性を養わせる。 |
| | 全学年 | ホームルーム | 自分の進路について考えさせ、社会に貢献していく意識を持たせる。 |
| 7月 | 全学年 | クラスマッチ | 集団の中での個の役割を自覚させ、公正・協力・責任などの態度の育成を図る。 |
| | 全学年 | 熱中症予防研修会 | 自他の生命を尊重し、心身の健康や安全を確保するための適正な判断力、対処能力を養う。 |
| 8月 | 3年生 | 自学セミナー | 自主的な取り組みを通して、目標達成のために自分に打ち勝つ強い精神力および、自律の精神を養う。 |
| | 全学年 | 大運動会 | 生徒が主体的に運営することにより、競争や協同の経験をとおして団結と友情を培い体力の向上と精神の陶冶を図る。また、公正に行動し進んで規則を守る態度を育成する。 |
| 9月 | 全学年 | 交通安全教室 | 公共の精神および、生命尊重の精神を養わせる。 |
| | 全学年 | 芸術鑑賞 | 情操を高め、豊かな教養の育成に資するとともに、集団や社会の一員として伝統文化の継承や創造に寄与する態度を育成する。 |
| 10月 | 2年生 | 修学旅行 | 所属感や連帯感および相互の信頼関係の大切さを学び、人間としてのあり方、生き方について考察を深める力を育成する。 |
| | 全学年 | 美化コンクール | 主体的に清掃活動に取り組むことにより、公共の精神を賞ぶことのできる心を育成する。 |
| 11月 | 全学年 | リーダーズ研修 | 嘉穂高生としての自覚と誇りを持ち、豊かな心と調和のとれた生徒を育成する。 |
| | 全学年 | ホームルーム(人権教育講演会) | 人間尊重の精神と豊かな心を育成し、自他の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を身につけた生徒を育成する。 |
| 12月 | 全学年 | マラソン大会 | 心身の鍛錬および、不撓不屈の精神を養い、「嘉穂魂」の高揚を図る。 |
| | 全学年 | 寒稽古 | 寒稽古の歴史と伝統を体感することにより、伝統や文化を尊重する態度を育成する。 |
| 1月 | 全学年 | ホームルーム(奉仕作業) | 学校や地域の奉仕活動、環境美化活動を行うこととおして、奉仕の精神および公共心を養わせる。 |
| | 全学年 | 美化コンクール | 主体的に清掃活動に取り組むことにより、公共の精神を賞ぶことのできる心を育成する。 |
| 2月 | 3年生 | 卒業式 | 学校、社会等への所属感を深めるとともに、未来を拓く主体性のある日本人を育成する。 |
| | 1年生 | 総合的な学習 | 社会についての認識を深め、望ましい勤労観や職業観の育成を図る。 |
| 3月 | 全学年 | 始業式、終業式 | 講話をとおして、道徳的実践意欲や態度を身につけさせるとともに、自己を振り返り、さらによりよい生き方を求める態度の育成を図る。 |
| | 全学年 | 人権教育授業 | 自他の人権を尊重する精神を養わせ、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を身につけた生徒を育成する。 |